

第 11 回「日本語体験コンテスト in ホーチミン」

実 施 報 告 書



<後列左より>入賞者 5 名 NGUYEN LAM MAI VY、BUI HA MY HIEN、NGUYEN QUOC HUY、
TRAN NGUYEN MINH THU、NGUYEN NGOC LAN CHI

<前列左より>THU 名誉委員 (HUFLIT 大学)、THAO 名誉委員(サイゴンランゲージスクール)、SI
本部長、西部審査委員、Hang 実行副委員長 (Hong Bang 国際大学)、菊川実行委員
長、琉咲副領事(在ホーチミン日本国総領事館)、杉支店長(ANA ベトナム総代表)、山田
審査委員長、HOE 名誉委員(ドンズー日本語学校)、DANH 名誉委員(さくら日本語学校)

- 【開催日】 2018 年 8 月 4 日(土) 予選会 12:00～ 本選会 14:00～
- 【会場】 ベトナム・ホーチミン市 ホンバン国際大学
- 【主催】 一般財団法人 共立国際交流奨学財団
- 【現地運営団体】 SAKURA-VT、ホンバン国際大学
- 【後援】 日本国文部科学省
在ホーチミン日本国総領事館
全日本空輸株式会社ホーチミン支店
- 【協賛】 株式会社 共立メンテナンス
- 【協力団体】 ベトナム国家大学ホーチミン市人文社会科学大学
ドンズー日本語学校
サイゴンランゲージスクール
SAKURA 日本語学校
HUFLIT 大学

<総評>

2008 年より始まった「日本語体験コンテスト in ホーチミン」は、2018 年度で第 11 回目を迎えました。

第 11 回「日本語体験コンテスト in ホーチミン」は 8 月 4 日(土)、ベトナム・ホーチミン市 Hong Bang 国際大学にて開催されました。

一次予選会では、日本の地理、政治、経済、文化、文学、社会、流行など幅広い分野から、聞き取り問題 30 問が出題されました。今年度も日本に渡航歴のない人を対象に行ったため、普段から日本の時事問題に関心を持っていないと非常に難しい問題だったかと思います。コンテスト参加申込者は 108 名、当日の参加者は 77 名でした。

そして、予選会を通過した 18 名が、本選会の 3 分間即興スピーチに進みました。

本選会の即興スピーチでは、その場で出された 3 つの課題、「①あなたが日本語を勉強していて難しいと感じる文法(もしくは表現)はなんですか。具体的な理由や例を挙げて、話してください。②あなたが日本語を勉強しようと思ったきっかけは何ですか。エピソードを交えて話してください。③あなたの国と日本の文化・習慣で、大きく違う点は何だと思いますか。具体的な理由や例を挙げて、話してください。」というテーマから 1 つを選択し、5 分のシンキングタイムの後、3 分間の即興スピーチを行いました。本選会出場者は①のテーマを 2 名、②のテーマを 11 名、③のテーマを 5 名の方が選択しました。

そして、審査委員 3 名による審査の結果、入賞者 5 名が選ばれ、賞状と賞品目録が授与されました。

入賞賞品としては、2019 年 1 月 20 日(日)～1 月 27 日(日)(7 泊 8 日 1 泊機内泊)の日程で、日本体験旅行に参加する権利を与えられました。

この日本体験旅行を通じて、日本の生活や文化を直接肌で感じ、日本への関心・理解をより深め、日本に好感を持ってもらえればと思います。また、日本留学の夢・将来の夢を実現するきっかけにもらえればと思います。

<実施報告>

■ 予選会

予選会	12:05～	開会の辞・注意事項説明
	12:10～	予選(日本語聞き取り問題 30 問)

日本の地理、政治、経済、文化、文学、社会、流行などについての聞き取り問題 30 問



注意事項説明の様子



応募総数 108 名中、77 名が参加
一次予選(聞き取り問題)に挑戦

成績上位者 18 名が本選会へと出場しました！

■ 本選会

本選会	13:40～	予選通過者発表
	14:00～	開会の辞・審査委員紹介・注意事項説明
	14:20～14:25	シンキングタイム
	14:25～	スピーチ
	15:40～	アトラクション

スピーチ課題

- ①あなたが日本語を勉強していて難しいと感じる文法(もしくは表現)はなんですか。具体的な理由や例を挙げて、話してください。
- ②あなたが日本語を勉強しようと思ったきっかけは何ですか。エピソードを交えて話してください。
- ③あなたの国と日本の文化・習慣で、大きく違う点は何だと思いますか。具体的な理由や例を挙げて、話してください。

テーマ②の課題を選んだ方が最も多く、「日本で技術を習得したい」や、「日本で学んだことをベトナムで活かしたい」など、ベトナム人学生の勤勉さが顕著になりました。



3 分間の即興スピーチの後、審査委員からの質問に答えます。

■ 表彰式

表彰式	16:20～	「夢・日本体験賞」発表(5名)
-----	--------	-----------------

<式次第>

- 一、開会の辞
- 一、実行委員長挨拶
- 一、来賓挨拶
- 一、審査委員長講評
- 一、賞状授与
- 一、閉会の辞

<実行委員長 挨拶>



菊川実行委員長

<来賓 挨拶>



在ホーチミン日本国総領事館
副領事 琉咲 愛様



ANA ベトナム総代表 ハノイ-ホーチミン
支店長 杉 正純様

<審査委員長 講評>



山田審査委員長

<審査委員 講評>



西部審査委員

<賞状授与>



入賞者 5 名に菊川実行委員長より
賞状と目録が授与されました。

<奨励賞授与>



山田審査委員長より
一次予選通過者 13 名に
奨励賞が授与されました。

入賞賞品 『夢・日本体験賞』



氏名	在籍校	日本語学校
グエン ゴック ラン チ NGUYEN NGOC LAN CHI	ホーチミン市師範大学	—
グエン ラム マイ ヴィ NGUYEN LAM MAI VY	オープン大学	ドンズー日本語学校
チャン グエン ミン トウ TRAN NGUYEN MINH THU	ホーチミン市師範大学	ドンズー日本語学校
グエン コック フィ NGUYEN QUOC HUY	工科大学	ドンズー日本語学校
ブイ ハー ミー ヒエン BUI HA MY HIEN	HUFLIT 大学	—

入賞者 5 名には、『夢・日本体験賞』(7 泊 8 日の日本体験旅行)を贈呈致しました。



ドンズー日本語学校
(ソーラン節)



さくら日本語学校
(恋ダンス)



Hong Bang 国際大学
(365 日の紙飛行機)



ドンズー日本語学校
(千本桜)



Hong Bang 国際大学
(ネッコヤダンス、恋ダンス、マイコフォレストダンス)

ベトナム人学生によるアトラクション(ダンス)の様子です。日本でもよく踊れられる「ソーラン節」や、昨年大ヒットした「恋ダンス」などの出し物を披露してくれました。

< 講評 >



審査委員長 山田 光矢
(一財) 共立国際交流奨学財団 奨学金選考委員
日本大学大学院 法学部 教授

たくさんの希望者が集まってくれたことに感謝します。日本への興味の深さや関心の高さが伝わってきました。特に驚かされたことは、予選会の得点の高さでした。予選通過ラインが高くなったことは、皆さんの日本についての理解度が、広範囲にわたってより正確になってきたことを示していたものと思っています。

本選会においては、三つのテーマを示して自由に選んでスピーチしてもらいました。最初から五名への一点の加点についても、積極的に手が上がり、日本へ行きたいという皆さんの熱意が伝わってきました。スピーチのテーマもほぼ均等に三つのテーマに分かれ、内容も独自性の強いものが多かったことに驚かされました。日本語だけではなく、日本の社会や伝統文化などにも深い関心を持っている人が多いことがわかりました。

スピーチは 3 分です。ただし、最初のベル(一回、予鈴)で急いで結論を述べた方が少し多かったのですが、二回目のベル(二回、本鈴:3 分)を聞いてまとめれば少し評価が上がった方もいたと思われました。予鈴前にスピーチを終えられ点数の低くなった方もいました。予選で高得点を取られた方のスピーチが短かったことは少し残念でした。

アニメやドラマを通じて日本との接点ができ、日本に興味を持った人が多いのはアジア諸国に共通したものです。その傾向はベトナムでも見られましたが、日本人の感情表現の難しさを指摘した方が複数いたことに、ベトナム人の生活や文化と日本のそれが大きく異なることを意識して日本語を勉強している方が多いことがわかりました。

今回日本に行くことになった方々は、色々なことにチャレンジして、日本の特徴やベトナムとの相違点などを理解してください。それを周りの人に伝えて、来年度も多くの方が予選会に参加されるようにしてください。日本での再会を楽しみにしています。